



府中二中だより

令和6年度スローガン 「笑顔満開の学校」

令和6年度
1月24日発行
令和7年度展望号
府中第二中学校
校長 成清敏治
電話 361-9302

社会全体で子供の教育に責任を！

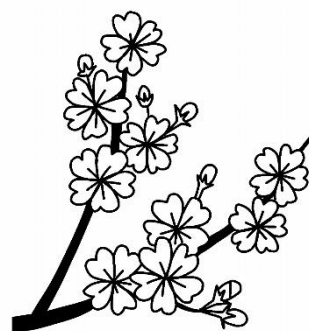
4月の入学に向け、期待と不安があるのでは、と拝察いたします。今年は「昭和100年」ということで、昭和・平成・令和の時代変化を総括するテレビ番組を見かけます。特に最近の30年の激動ともいえる変化は、今後の子供たちが生き抜いていく30年後を考えた時に、しっかりと振り返り省察することで、今後何をどう身に付けていくかを明確にしてくれるものだと思感します。

そのことを踏まえ、現在、来年度の経営方針や教育課程、そして学校行事、さらに地域・保護者との連携までを視野に入れ作成しています。子供の教育（人格育成）という共通の目標に向かって、効率良く分担することが必要だと思われます。コロナ禍から5年が経ち、様々な価値観も変化しています。教員の働き方改革は喫緊の課題で、教員不足のニュースがかなりの頻度で報道されています。来年度は府中二中としての将来ビジョンを明確にし、不易と流行の立場で学校教育を考え、学校を核として社会全体で子供の教育に責任を負う、そのような子供との向き合い方を考えていければと思っています。

第一に、学校経営の柱としては、徹底した対話と納得の指導を掲げています。中学校時代は心身ともに不安定な時期です。一番必要なことは寄り添いと居場所です。中学生の身近にいる大人が一番の味方であり、どんな状況であっても対話を継続し、互いが納得して希望ある未来へ向かうことが、大人も子供も絶対不可欠です。決して、大人と子供は上下関係ではありません。教職員も地域・保護者の方々も、子供とともに学び成長しながら、笑顔溢れる学校づくりに参画していただけると有難いです。来年度も「オトナの学び」を充実させます。

第二に、教育目標を大きく変更する予定です。端的に口ずさめ、覚えやすい目標にします。その短いフレーズの中に様々な意味を落とし込み、柔軟に対応できる目標を設定する予定です。未来の予測が難しい時代だからこそ、前例踏襲ではなく、柔軟に時代を見据えた取組を実施する、そして目指す頂上は同じでも、登山口は無数にあるという個性豊かに自分らしい生き方を追求していくことが大事です。

第三に、各教科や領域の分野で学んだことを、総合的な学習の時間で生かしていく取組を実施します。具体的には学年ごとに大テーマを立て、自分から他者、他者から社会、そして自分の将来へと視野を広げていき、将来必要な力として5つの柱を設定します。①健康、②地域・防災、③人権・福祉、④国際理解、⑤未来・平和、これらは人間にとって「平和な心」を構築する大事な要素であり、常に磨き抜いていく必要があります。義務教育である9年間の中で、社会に出ても困らない資質や能力、



リテラシーを育成する取組を効果的・発展的・創造的に 3 年間で配置していきます。もちろん学力も大事ですが、もうオールマイティーに全ての教科ができることが良い時代ではありません。スカイツリーの原理で、専門分野を極めた人たちが強固なコミュニケーションを図り、効率良く協働していけば、世の中に功績を残せるのが時代です。自分は絶対にこの分野は負けないとの熱い思いと、人間を絶対的に信頼するコミュニケーションを中学校時代のミッションにできればと考えています。

時代は変わりました。スマホの保有が小学生にも行き渡る時代です。悪に染まれば闇バイトに安易に加担する時代です。何が大事で何が必要で何を身に付け社会へ送り出すか、これは子供の問題ではなく大人の問題です。また大人が背中で訴えることです。二中の教職員は、その未来を形作ってくれる生徒の最大の味方だと、自信をもって保護者の皆さまへお伝えできます。どうか府中二中の3年間で、お子様が存分に自分らしく生きていく、そして自主性が発揮でき、自信をもって生きていけるよう頑張っている所存です。

(新入生保護者説明会 1月18日)

【新1年生保護者向け】

4月に来年度の行事予定が配布されますので、4月予定だけお知らせします

4月 8日(火) 入学式	19日(土) 土曜授業 市防災の日
17日(木) 保護者会	30日(水) 部活動保護者会

避難訓練から感じたこと

1月17日(金)、火災の想定で避難訓練を行い、運動場へ避難した。今年度の訓練が雨続きで外への避難をしたことがなかったので、寒い中ではあったが実際にやってみた(短時間で)。外はやはり寒かった。風が吹くと身震いした。

奇しくも30年前の阪神・淡路大震災と同じ日である。発生は5時46分というまだ大半が起きる前の時間。家屋が倒壊した人たちは、このように外で寒さにふるえ、途方に暮れていたのかもしれない。そう考えると、災害に対して謙虚かつ予防に備えることを真剣に行う必要があると感じた。

今年に入って、南海トラフ巨大地震の30年以内発生確率が「80%程度」に上がった。専門家によれば「すごく危なくなった、ということではなく、時間の経過とともに次の地震の発生日に近付いているのは間違いない、備えを強化して防災意識を高めていくことが重要だ」と述べている(京都大学防災研究所 西村卓也教授)。

日本は地震列島である。いつ、どこで地震が起きてもおかしくないと言われる。地震発生の切迫度「Sランク」の活断層帯は全国で30以上ある。それだけの予測を示されている私たちの生活。いざという時のために御家庭でも備えの強化を。また避難時の集合場所なども話し合っていたいただければと…。



北多摩地区公立中学校美術展(1月16~23日) 出品者(敬称略)

前島凜音 山崎莉奈 山田楓花 長島樺子 松崎紗都子 山下知希 齋藤緒海
藤澤亜樹 老藤埜乃子 高筒葉月 佐伯春道 嶋影麻衣 嶋田優葉 北條志結
渡辺一加 清水優里 林 結翔 伴香菜子 藤井心咲 門 玲美 佐藤孝太
松川奈々子 山本萌花 湯元満月 岩村恵冬 石崎 杏 阿部和奏 津村昂希
後藤ひかり 森田琥太郎 恩田莉奈

【祝 演劇部関東大会出場!!】